

## 取組方針

株式会社酒井塗装店は創業73年になります。これも偏に常に感謝の気持ちで、事業に邁進した結果だと思えます。

この感謝の気持ちの中には①お客様への感謝 ②社員に感謝 ③地域(石川)に感謝 この3つを掲げております。③の地域に感謝を考えたとき昨今の気候変動等、我々の住まう石川も例外ではありません。当社としても今できることとして、事業活動に伴う環境負荷低減のために以下の取組を社員とともに推進します。

- ① 二酸化炭素削減に努める
- ② 塗装工事における材料・副資材等の低減・リサイクル
- ③ 営業部門における、廃棄物の削減と石油エネルギーの低減
- ④ 整理・整頓を行い無駄をなくす

令和元年 10 月 25 日

株式会社 酒井塗装店

代表取締役社長 酒井 直樹

■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を低減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

<p>目標一1</p>	<p>二酸化炭素の排出量（売上高当たり）を、H30年度を基準としてR2年度までに2%削減する。</p> <p>基準値 176 kg-CO<sub>2</sub>/百万円 ⇒ 目標値 172.5 kg-CO<sub>2</sub>/百万円</p>
<p>具体的な取組</p>	<p>（事務所での取組）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① エアコンのフィルター清掃を定期的にする。</li> <li>② 人のいない場所の消灯と空調の停止を徹底する。</li> <li>③ 窓に断熱フィルムを貼り、冷暖房効率を高める。</li> <li>④ 温室時計を設置し、適正な室温を保つようにする。</li> <li>⑤ 省エネ型のOA機器を導入する。</li> </ol> <p>（車両での取り組み）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① アイドリングストップに努める。</li> <li>② エコドライブに努める。</li> <li>③ タイヤの空気圧を定期的にチェックし、燃費の向上に努める。</li> <li>④ 現場に行く際の持ち物、必要機材の確認を徹底し、荷物積み過ぎによる燃費低下を防ぎ、不足分を取りに戻ることに伴う効率低下を防ぐ。</li> <li>⑤ 社用車の効率的な使用(運転経路、相乗り)を徹底する。</li> </ol>
<p>目標一2</p>	<p>産業廃棄物の排出量削減に努め、リサイクルの推進に取り組む。</p>
<p>具体的な取組</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 現場で発生する産業廃棄物は種類ごとに分別し、処理業者に委託して再資源化する。</li> <li>② 塗料、シンナー等の空缶など金属くずは全てリサイクルする。</li> <li>③ マニフェストの管理を徹底する。</li> <li>④ 使用塗料を共通化する。</li> <li>⑤ ウェス、軍手など消耗品を無駄にしない。</li> </ol>

<p>目標-3</p>	<p>コピー用紙の使用量（売上高当たり）を、H30年度を基準としてR2年度までに2%削減する。</p> <p>基準値 0.38 kg/百万円 ⇒ 目標値 0.37 kg/百万円</p>
<p>具体的な取組</p>	<p>① 資料作成の際、パソコン画面上で確認をして、印刷回数を削減する。</p> <p>② コピー機やパソコンの印刷設定の確認を徹底し、印刷ミスによる紙使用量を削減する。</p> <p>③ 機密文書以外の不要な文書は、裏面を再利用する。</p> <p>④ コピーする際は、その必要性を十分考える。</p>

■ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、環境活動責任者を中心に全従業員が「具体的な取組」を実行し、環境活動責任者がその進捗状況を定期的にチェックします。